

リーグH (エイチ) 起動!

世界で戦えるハンドボールリーグを目指し、
アジアNo1、世界トップレベルのリーグへ!

日本ハンドボールリーグ
JAPAN HANDBALL LEAGUE

- 
- 1. リーグH（エイチ）起動！**
 - 2. KEY CONCEPTS -概要-**
 - 3. NEW リーグH -3つの柱-**
 - 4. NEW リーグH -フォーマット-**
 - 5. NEW リーグH -事業戦略骨子-**

JHLからリーグH（エイチ）

▶ 2024-2025シーズンから起動

— “H”にかける想い —

HOME（ホーム）

地域とともに歩むハンドボール

HOPE（ホープ）

希望をもって進むハンドボール

英知（エイチ）

英知を集め、成長するハンドボール

HOME
(ホーム)

HOPE
(ホープ)

英知
(エイチ)

(※) Hは元素記号では1番（水素）に位置するものであり、「No.1を目指す」という意味も込められています。

1. リーグH（エイチ）起動！

TARGET

世界で戦えるハンドボールリーグを目指し、
アジアNo1、**世界トップレベルのリーグ**へ

KEY CONCEPTS

CONTRIBUTION
×
GLOBALIZATION
×
ENTERTAINMENT

CATCHPHRASE

「**共創**」 × 「**競争**」

2. KEY CONCEPTS -概要-

CONTRIBUTION

小学生から大学生まで
切れ目のない次世代人材育成と、
チームと地域のつながりを
通じた地域貢献の実現

GLOBALIZATION

選手の競技力を世界トップレベル
まで向上とともに、
世界のマーケットを意識した
グローバルイゼーションの実現

ENTERTAINMENT

エンターテインメントとしての
ハンドボールの魅力、選手一人ひとりの
魅力・価値を最大限引き出すべく、
ファッション、ダンス、音楽など
様々な分野とコラボレーションの実現

3. NEW リーグH -3つの柱-

CONTRIBUTION

次世代育成

U15を含む下部組織のチームの保有等を通じて次世代育成を推進

チーム名

ホームタウンとなる地域名をチーム名称に設定

独立運営

経営の効率化や収益力の向上等を通じて持続可能性を確保

プロ選手

統一契約書に基づく「プロ選手」の数を段階的に引き上げ

アリーナ集客

1500名以上のホームアリーナを確保

GLOBALIZATION

ENTERTAINMENT

4. NEW リーグH-フォーマット-

リーグHフォーマットの2つの視点

【競技力の向上】

(試合数の増加)

と

【ファン目線の改革】

(実力伯仲の試合の実現)

**【レギュラーシーズン
プレーオフの魅力向上】**

と

**【カンファレンス制の
リーグ】**を実現

4. NEW リーグH-フォーマット-

新たな取り組み

(1) レギュラーシーズン

- ▷2024-25シーズンから、男子2回戦総当たり、女子3回戦総当たりとして試合数を増加

(2) オールスター戦・ カップ戦

- ▷オールスター戦：外国籍選手を含めたスター選手による魅力ある試合の開催
- ▷カップ戦：若手選手など出場機会が少ない選手を積極的に起用

(3) カンファレンス制

- ▷2027-28シーズンから新たにカンファレンス制を導入
- ▷2連戦の開催含め、試合数については引き続き検討

4. NEW リーグH-フォーマット-

(4) プレーオフ

- ▷ プレーオフへの進出チーム数を、男子は現行の4チームから6チームに、女子は現行の4チームから5チームに増加
- ▷ カンファレンス制導入後、それぞれのリーグの上位3チームがリーグチャンピオンシップ（仮称）に進出し、各カンファレンスの年間チャンピオンを決定
- ▷ カンファレンスの年間チャンピオン同士の対戦によるリーグチャンピオンの決定



PLAYOFFS

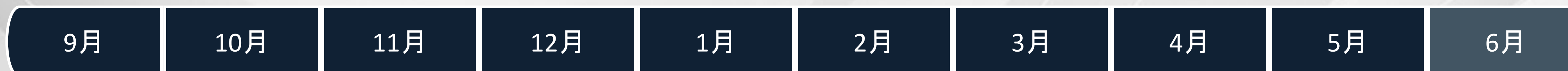
4. NEW リーグH-フォーマット-

リーグ開催期間

レギュラーシーズン：9月～5月頃
プレーオフ：6月頃

2024年

2025年



プレーオフ
開催予定



レギュラーシーズン

5. NEW リーグH-事業戦略骨子-

CONTRIBUTION	次世代育成 地域密着戦略	<p>(1) 次世代育成</p> <ul style="list-style-type: none">▷ 高校生、大学生も視野に入れた、ジュニアからトップチームまで切れ目ない育成・強化▷ 選手のみならず、コーチ、審判の育成も視野に入れた次世代育成 <p>(2) 地域密着型の取組み</p> <ul style="list-style-type: none">▷ 地域社会の課題に向き合い、地域とともに歩むリーグ作り・チーム作りを行う
GLOBALIZATION	国際化戦略	<p>(1) 国際マーケットの開拓</p> <ul style="list-style-type: none">▷ 韓国との連携を軸にしたアジアマーケットの開拓▷ 欧州の強豪国のリーグ・チームとの連携 <p>(2) 人材交流</p> <ul style="list-style-type: none">▷ プロ化の推進による選手の国際移籍促進、外国籍選手の移籍促進▷ コーチ、審判等のレベルアップに向けた国際交流
ENTERTAINMENT	エンター テインメント 戦略	<p>(1) 映像配信事業の強化 / プラットホームの構築</p> <p>(2) 選手プロデュース</p> <p>(3) ミックスカルチャーの実現</p> <ul style="list-style-type: none">▷ 音楽、ファッション、ダンス、お笑いなどの他分野とのコラボレーションを展開▷ 他競技との積極的な連携

WGにおいて事業戦略骨子の具体化に向けた検討を更に進め、KPIを設定

リーグHにおけるチームステータス達成表

	2024-25シーズン (新シーズン1年目)	2025-26シーズン (新シーズン2年目)	2026-27シーズン (新シーズン3年目)	2027-28シーズン (新シーズン4年目)	2028-29シーズン (新シーズン5年目)
理念賛同	A (*)	—	—	—	—
地域名要件 (チーム名)	A (*)	—	—	—	—
運営体制 (独立法人設置)	B	B	B	A (*)	—
アリーナ (会場規模1500名以上) (原則8割、やむを得ない事情がある場合には6割実施)	B	B	B	A (*)	—
集客要件	1000名 B	1000名 B	1500名 A	1500名 —	2000名 A
財務要件 (黒字化)	B	B	A	—	—
支援書要件 (自治体・都道府県協会)	B	A (*)	—	—	—
次世代育成	U12 A	U12 —	U12 —	U12 —/U15 A	U12 —/U15 —
契約要件	プロ11名以上 B	プロ11名以上 B	プロ11名以上 A (*)	プロ11名以上 —	プロ16名以上 A (*)
事業要件 (商標登録)	A	—	—	—	—

(注1) 表中の「A」は、達成が必須のもの。仮に達成されていない項目がある場合には、当該項目について、チームが今後の達成見込みに係る計画書を策定し、リーグに提出。リーグは、当該計画書に基づきチームの取り扱いを協議する。「B」は、達成に向けた努力義務目標。

(注2) 表中(*)とあるのは、当該シーズン開始年の9月まで(シーズン開始前まで)に達成することとする。(それ以外は、シーズン終了後までに達成)

日本ハンドボールリーグ

JAPAN HANDBALL LEAGUE